

## 平成23年度平塚市地方卸売市場運営審議会 議事録

日時：平成24年（2012年）2月21日（火）午後1時30分～午後3時

場所：平塚市役所南附属庁舎E会議室

出席者：9人 片倉章博委員・佐藤貴子委員・行川一郎委員・武藤早苗委員・宇田川哲由委員・梅原勝之委員・片倉栄一委員・田中邦男委員・高橋裕委員

部長あいさつ

### 1 あいさつ

〈会長〉あいさつ

### 2

#### （1）市場活性化について

〈事務局〉（買受人の公募要領案を説明）

〈委員〉今まで他の市場を利用していた人が平塚の市場を利用するようになればよい。新たに買受人となる人から補償金等をとるのか

〈委員〉補償金についても具体的に考えなければならない。

〈委員〉取引協議会を頻繁に開催することは実務的に可能なのか。

〈事務局〉出席者は主に市場に出入りしている人なので、開催に困難はないと考える。

〈委員〉どれだけの反響を考えているか。

〈事務局〉他地域では実際にほとんど応募は無いようであるが、近隣市から応募があることを期待している。

〈委員〉現状市場に登録していない大手流通業者が参加することも想定しているのか。

〈事務局〉大手流通業者は独自のルートを持っていることが多いので、このことについては今回の公募というよりも、平塚魚市場の営業部に頑張ってもらいたいところである。

〈委員〉これだと今までと大差がないのではないか。

〈委員〉他市では市場開放を行っている場所もある。大手がもし参入してきた場合、平塚の水揚げ量で対応できるのか。

〈委員〉対応できる。

〈委員〉魚屋も巻き込んで市場の活性化に取り組まなければならないのではないかと。インフラだけ整備が進んではもったいない。

〈委員〉ゆくゆくは魚市場が新港に隣接できれば、漁協、魚商、加工組合と市場が連携してごはんを食べていけるようになるのではないかと考えている。市場開放を考えると、魚屋には計り知れないダメージが及ぶ。平塚市内で魚屋が殆どいなくなるというような状況にでもならない限り市場開放は考えていない。

〈会長〉将来のことを語ると話は尽きないが、その第一歩として詳細を市場、事務局等で調整していただき、4月から公募を行っていくということでよいか。

〈委員〉（異議無し）

（2）その他

〈委員〉平塚には名産品やお土産が少ないので、今後は市場などで橋渡しができるようになるといい。

委嘱式

（委員変更に伴う委嘱式）

閉 会